

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	Excel プログラミング I			教員名	北村 伸司
対象学年	2	授業数	3/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Excel の関数を使用するだけでなく、VBA によるプログラミングを習得すること で、より複雑で高度なシステムを構築できる考え方と発想力を高めることを 目的とする。				
2. 科目の 到達目標	① 「数式」「関数」「マクロ」「VBA」の関係性を理解する。 ② Sheet をデータベーステーブルとして活用する方法を理解する。 ③ Form で使用できるオブジェクトの役割や特性を理解する。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	「給与計算システム」作成（関数とマクロ、VBA の使い分け） 「給与計算システム」作成（関数とマクロ、VBA の使い分け） ---これより「売上管理システム」作成--- 「SUB プロシージャ」「変数のデータ型と宣言」「IF ステートメント」 「Module の使用」「Form の使用」 「実用的な Form やオブジェクト」 Sheet をデータベースの Teble として使う概念とその方法 Form 内の主要なコントロールの役割と使い方 コントロールからのデータ取得とセルへのデータ入力 ListBox へのフィールド作成、レコード追加・データ読み出し 元データ用 Sheet と ListBox とのデータ連動・レコードクリック時処理 「ThisWorkbook」でのイベントコントロール オリジナル作品を制作してみよう（同時進行） ---作品制作ここまで--- 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業に取り組む姿勢や態度の評価			10%	
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価			25%	
	課題作成・提出の評価			25%	
	作品提出の評価			40%	
	合計			100%	
5. テキスト	Excel VBA プログラミング ユーザーフォーム&コントロール（秀和システム）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要 です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前の ことをしっかりおこなってください。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	Excel プログラミングⅡ			教員名	北村 伸司
対象学年	2	授業数	3/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Excel の関数を使用するだけでなく、VBA によるプログラミングを習得することで、より複雑で高度なシステムを構築できるような基礎的な考え方を深めることを目的とする。				
2. 科目の 到達目標	① 「Sheet」「Form」「Module」の役割と関係性を理解する。 ② 「イベントプロシージャ」と「サブプロシージャ」の違いと適切な活用方法を理解する。 ③ 実現したい機能を構築するためのシステム設計を描くことができるようになる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	「売上管理システム」の作成、ListBox へのフィールド作成・レコードの追加・データの読み出し ListBox 内のレコードが選択されたイベントをトリガーにして該当する文字データと画像データの連動 より高度な ListBox の使い方 外部データの読み込み・外部ファイルの画像データの読み込み Sheet をテーブルとして使用し、Form 内のオブジェクトに反映させる考え方 ComboBox へのリストデータの設定・選択されたデータをもとにした外部の画像データの読み込み VBA からフィルタオプション機能を利用する 課題：重複なしのリストデータを作成する方法をオリジナルで作成してみよう。 課題：オリジナルシステムの制作（ジャンルを問わず、あったら便利と思えるシステムを ExcelVBA で制作する） 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業に取り組む姿勢や態度の評価			10%	
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価			25%	
	課題作成・提出の評価			25%	
	作品提出の評価			40%	
				合計	100%
5. テキスト	「Excel VBA プログラミング ユーザーフォーム&コントロール」(秀和システム)				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	データベース基礎Ⅰ			教員名	北村 伸司
対象学年	2	授業数	3/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Access を利用してデータベースの仕組みや基礎を学び、テーブルやクエリ、マクロなどがどのように連携してデータを扱っているのかを理解する。 オリジナルの機能を追加、制作することによって、より実践的なレベルでのデータベース構築ができるくらいに理解度を深める。				
2. 科目の 到達目標	① データベースの概念を理解し、システムの設計・DB 構築ができる ② Access における、テーブル、クエリ、レポート、マクロの役割と作成方法を理解する ③ 検索システムを制作することによって、データベース全体の構造や処理の流れを理解する				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	データベースの概念（テーブル、クエリ、フォーム、レポート、マクロ） クエリの抽出条件、ワイルドカード、複合条件の設定方法 「商品検索システム」作成（データベースの構造とデータ活用方法） データ型について、データのインポート リレーションシップの設定、参照整合性、連鎖更新・連鎖削除 フォームを使用した入力と出力の方法 様々なパターンの検索方法、オリジナル検索の作成 抽出したデータをレポートとしてレイアウトし印刷する マクロを使用したより複雑なクエリの処理 オブジェクトの特性（テキストボックス、コンボボックス、タブインデックス） Like 演算子、Between 演算子 「商品検索システム」へのオリジナルの機能の追加 作品制作 作品制作 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業に取り組む姿勢や態度の評価			10%	
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価			25%	
	課題作成・提出の評価			25%	
	作品提出の評価			40%	
	合計			100%	
5. テキスト	60 時間でエキスパート Access2007/2010（実教出版）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	データベース基礎Ⅱ			教員名	北村 伸司
対象学年	2	授業数	3/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	Access を利用してデータベースの仕組みや基礎を学び、テーブルやクエリ、マクロなどがどのように連携してデータを扱っているのかを理解する。 オリジナルの機能を追加、制作することによって、より実践的なレベルでのデータベース構築ができるくらいに理解度を深める。				
2. 科目の 到達目標	① Access における、テーブル、クエリ、レポート、マクロの役割と作成方法を理解する。 ② データベースの仕組みを理解し、データのインポートやリレーションシップなどデータテーブルの構成を理解し作成できるようになる。 オリジナルの検索システムやデータ抽出などを作成できるようになる。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	「元データ」とは異なるタイプのテーブルの使用方法 ファイル形式の異なるデータのインポート（Access 形式・Excel 形式・CSV 形式・テキストデータ） リレーションシップと参照整合性の関係（参照整合性・連鎖更新・連鎖削除） 複合キーによる主キー設定のメリットと使い方 アクションクエリの使用（作成方法と注意点） レポート作成時のグループレベルと効率的な分類設定・表示方法 検索処理の「システム制作順序」と「実行時の処理の流れ」 検索結果の表示方法について、元データ保護の必要性和その方法 課題：「複合検索を実現する」でオリジナルの検索方法を作成する メインサブフォームの仕組みと有効な利用方法 課題：「書籍管理システム」の問題点やエラーになる危険性がある機能について考え、オリジナルの対処法を制作する 課題：自作のクエリやマクロを使用したオリジナル機能を構築する 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業に取り組む姿勢や態度の評価			10%	
	作品作りの前向きさや創意工夫の評価			25%	
	課題作成・提出の評価			25%	
	作品提出の評価			40%	
	合計			100%	
5. テキスト	「60 時間でエキスパート Access2007/2010」(実教出版)				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	作品の良し悪しだけではなく「前向きな姿勢」や「発想力」を養うことも重要です。課題の提出時は「制作条件を守る」「提出期限を守る」など、当たり前のことをしっかりおこなってください。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	IoT 制作基礎 I			教員名	篠田 幸雄
対象学年	2	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	超小型マイコン arduino に各種入出力部品を接続し、電子回路作成と制御プログラム作成の基礎を学ぶ。その基礎知識を基に、作りたいものを自分で設定して具現化させるまでの流れを一通り経験することで、ものづくりの楽しさを知るきっかけにする。マニュアルを正確にトレースする訓練も狙う。				
2. 科目の 到達目標	① 手順書を基に、arduino による電子工作を一通り自分で行える (対象部品を学習キットから選び出し、配線し、ソフトをインストールし、動作確認ができる)。 ② 授業で経験した部品を組み合わせ、各自のオリジナル作品を制作する。 ③ 毎授業の当日中に指定項目の日報メールを提出することとする。課せられたルールをきちんと守るという、卒業後の就業に備えた訓練も意識する。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	オリエンテーション；授業計画や目標説明、教材部品確認、等 開発環境整備・LED 点滅；Pj01 WhiteLED デジタル出力：Pj01 WhiteLED、Pj05 Active Buzzer デジタル入力：Pj05 Active Buzzer, Pj07 Digital Push Button アナログ入出力：Pj02 RGB、LED,Pj20 Analog Rotation Vol シリアル LED の制御：PjA7 WS2812 RGB LED 関数 tone() を使う：Pj06 Passive Buzzer Joystick で音の制御：Pj36 Joystick, Pj06 Passive Buzzer 明るさに比例させた音の制御：Pj21 Photocell、Pj06 Psv Buzzer 期末作品アイデア出し、制作 制作日 制作日 制作日 展示、発表 制作予備日（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	期末制作作品の評価 (あらかじめ公表する評価項目・基準により、提出作品を評価・採点する。評価点は 5 点満点で、3 点以上を合格とする)				100%
	合計				100%
5. テキスト	●解説手順資料（オリジナル教材資料を使用） ●Keyestudio 製「48 in 1 Sensor」＋追加部品				
6. 参考文献	－				
7. 履修上の 留意事項	●授業当日中に、指定事項記載の日報メールを受信したら、“出席”とする。 一回ごとに異なる入出力部品を取り上げて授業を進めるが、既出部品を組み合わせで新しい動作をさせる回もある。欠席した場合は、共有サーバーにある欠席会授業資料の内容を把握し、次回授業に備えておくこと。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	IoT 制作基礎Ⅱ			教員名	篠田 幸雄
対象学年	2	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	IoT 制作基礎Ⅰに引き続き、さらに多様な入出力部品をマイコン Arduino に接続して動作することで、より幅広い機能を具現化できることを確認する。 学んだ基礎知識を基にした期末作品制作を通じて、オリジナルなものづくりの楽しさを知るきっかけにする。				
2. 科目の 到達目標	① 授業で経験した部品を組み合わせ、各自のオリジナル作品を制作する。 ② 毎授業の当日中に指定項目の日報メールを提出することとする。課せられたルールをきちんと守るという、卒業後の就業に備えた訓練も意識する。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	後期オリエンテーション、サーボモーターを動かす Pj45ServoMot 明るさに応じてサーボモーターを動かす Pj21Photocell LED の光り方をセンサーで変化させる Pj28 Analog Ceramic Vib 温湿度センサーと LCD で温湿度計を作る Pj40 Temp&Humid 距離センサーと LCD で距離計を作る Pj46 Ultrasonic Sensor 人感センサーで人の動きを検知する Pj18 PIR Motion Sensing マトリックス LED の点灯制御 Pj48 8x8 LED 加速度センサーでマトリックス LED の点灯制御 Pj44 Acc Sensor 後期作品制作のアイデア出しと絞り込み 作品制作日 作品制作日 作品制作日 作品制作日 展示、発表 制作予備日（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウエイト等)	期末制作作品の評価 (あらかじめ公表する評価項目・基準により、提出作品を評価・採点する。評価点は 5 点満点で、3 点以上を合格とする)				100%
	合計				100%
5. テキスト	●解説資料（オリジナル教材資料を使用） ●Keyestudio 製「48 in 1 Sensor Kit」＋追加部品				
6. 参考文献	—				
7. 履修上の 留意事項	●授業当日中に、指定事項記載の日報メールを受信したら、“出席”とする。 ●一回ごとに異なる入出力部品を取り上げて授業を進めるが、既出部品を組み合わせる新しい動作をさせる回もある。欠席した場合は、共有サーバーにある欠席会授業資料の内容を把握し、次回授業に備えておくこと。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	CAD 表現技法 I			教員名	小林 弘和
対象学年	2	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	産業界で自動車・飛行機・造船・雑貨・建築・インテリア・家具・舞台美術・ファッション等において設計・製造工程等で設計図を用いる。設計図は図形を通した視覚的な伝達手段となるが、デザイナー、製造者間で設計ソフト：CAD(Computer Aided Design)をPCで使用する。CADによる新たな利用発見を促進し、初心者でも直感的操作可能なCADオペレーションを習得する。				
2. 科目の 到達目標	① CAD基本操作の習得 ② CADを通して新たな表現及び異業種ソフト連携利用法の発見 ③ 企画構想、成果物までの工程、表現が理解できる				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週	CAD イントロダクション			
	第2週	基本操作1 (環境設定・線分・矩形・円・トリム・複写)			
	第3週	基本操作2 (着色・文字入力・印刷設定等 他)			
	第4週	基本操作3 (CADによる直感的操作ドローイング1)			
	第5週	基本操作4 (CADによる直感的操作ドローイング2)			
	第6週	基本操作5 (画像ファイルを利用し、CADトレース)			
	第7週	基本操作6 (画像ファイルインポートによるCAD模写)			
	第8週	中間課題 (CAD操作等確認)			
	第9週	基本操作7 (3Dモデル表現 基本コマンド1)			
	第10週	基本操作8 (3Dモデル表現 基本コマンド2)			
	第11週	基本操作9 (3Dモデル表現 基本コマンド3)			
	第12週	演習課題1 (3Dモデル指定デザイン)			
	第13週	演習課題2 (3Dモデル自由デザイン)			
	第14週	最終課題 (3Dモデル最終課題)			
	第15週	期末試験・期末課題提出 (授業は第14週まで)			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	講義中の態度・出欠・理解等による評価				40%
	中間課題・最終課題の評価				60%
	合計				100%
5. テキスト	「著書名」(作者、出版社) 「著書名」(作者、出版社)				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	自己都合の遅刻・欠席した場合は、指定の補講や補足資料等で学習する 不明な点は、各講義中や講義後の質疑によるフィードバックによって、当日完結しておくこと				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト		■ビ実 □デザイン	
後期		■情報メディア □医療秘書			
授業科目名	CAD 表現技法Ⅱ			教員名	小林 弘和
対象学年	2	授業数	2/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	産業界において、三次元 CAD が主流である。そのツールを利用し設計製造を行う。単なる CAD の表現にとらわれない手法の発見・習得をする。実社会で可能な実践的デザイン・製造工程を体験したアクティブラーニングを行い、AI（人工知能）を利用したデザイン手法も習得する。昨今において現実世界に対してメタバース（仮想世界）という表現媒体が生み出されているが、CAD を通して、仮想世界での製品展開できるようなデザイン思考法も習得する				
2. 科目の 到達目標	① 2D/3DCAD 基本操作習得及び3D 表現及び2D 表現ができる ② 図面の見方・JIS 製図ルールを理解・作図手法の習得 ③ デジタルファブリケーションについてのアクティブラーニング ④ 企画構想・設計・プレゼンテーション、製造工程を経て実製品を生産				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	CAD イントロダクション（2D 図面・JIS 図面の見方 理解等） 基本操作 1 （CAD 環境設定・基本コマンド操作他） 基本操作 2 （CAD 基本コマンド 尺度・寸法記入・印刷設定等） 基本操作 3 （基本コマンド 1 断面図・三面図の描き方） 基本操作 4 （基本コマンド 2 断面図・三面図の描き方） 基本操作 5 （三面図作成・断面図・寸法記入） 中間課題 （CAD 復習 JIS 製図確認テスト） 基本操作 6 （3D 基本コマンド） CAD 工程 1 （3D デザイン企画 1 AI アプリ等利用） CAD 工程 2 （3D デザイン企画 2 AI アプリ等利用） CAD 工程 3 （3D モデリング化 2D 図面化 製品スケール等検討） CAD 工程 4 （3D モデルによるデジタルファブリケーション利用等） CAD 工程 5 （3D モデリング製品プレゼンテーション資料作成等） CAD 工程 6 （最終成果物 製品プレゼンテーション 講評） 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	講義中の態度・出欠・理解等による評価				40%
	中間課題・最終課題の評価				60%
	合計				100%
5. テキスト	「著書名」（作者、出版社） 「著書名」（作者、出版社）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	自己都合の遅刻・欠席した場合は、指定の補講や補足資料等で学習する 不明な点は、各講義中や講義後の質疑によるフィードバックによって、当日完結しておくこと				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	映像制作演習 B- I			教員名	曾我 政年
対象学年	2	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	チームで課題に沿って動画を制作しながら、撮影と編集に必要な知識を学ぶ。				
2. 科目の 到達目標	① 視聴者の興味を惹きつける脚本を書く ② 脚本に沿った絵コンテを描き上げる ③ Adobe Premiere Pro を使った高度な編集技術を身につける				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	課題 1（ワンカット、カメラワーク有、）の説明。グループ分け カメラポジション、アングル、Adobe Premire の基本操作 課題撮影 課題撮影 課題撮影 Adobe Premire による編集 1 Adobe Premire による編集 2 課題講評 課題 2、1 と同じ条件同じグループで別動画制作（課題検討） 課題撮影 課題撮影 Adobe Premire による編集 Adobe Premire による編集 課題講評 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	作品の評価			60%	
	授業中の態度			40%	
				合計	100%
5. テキスト	なし				
6. 参考文献	映像編集の教科書（玄光社）				
7. 履修上の 留意事項	授業時間外での打ち合わせ、検討が必要になるため、チームとしてのまとまりが求められる。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	映像制作演習 B- II			教員名	曾我 政年
対象学年	2	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	エフェクト効果を活用した編集によるショートムービー制作				
2. 科目の 到達目標	① アングルなど工夫して効果的な撮影をする ② 効果音を入れるなど編集による演出技術を学ぶ ③ エフェクトを使った高度な編集を学ぶ				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週	課題 3 尺が3～5 分の自由ムービー説明。グループ分け			
	第2週	テーマ決定			
	第3週	脚本制作			
	第4週	脚本制作			
	第5週	絵コンテ制作			
	第6週	絵コンテ制作			
	第7週	絵コンテに基づく撮影			
	第8週	絵コンテに基づく撮影			
	第9週	絵コンテに基づく撮影			
	第10週	絵コンテに基づく撮影			
	第11週	編集			
	第12週	編集			
	第13週	編集			
	第14週	上記作品講評			
	第15週	期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	作品				50%
	授業態度				30%
	協調性				20%
	合計				100%
5. テキスト	なし				
6. 参考文献	なし				
7. 履修上の 留意事項	編集技術を学ぶために自習が必要になる				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト		■ビ実 □デザイン	
前期		■情報メディア □医療秘書			
授業科目名	Web 制作応用 I			教員名	曾我 政年
対象学年	2	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	HTML と CSS の理解を深め WordPress での自由なサイト制作力を身につける				
2. 科目の 到達目標	① display:flex と grid を用いたサイトデザインを構築する ② media_queries を用いたフレキシブルなサイトを構築する ③ WordPress の仕組みを理解する				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週	1 年次の復習			
	第2週	display:flex の使い方			
	第3週	display:grid の使い方			
	第4週	display:grid の使い方			
	第5週	display:grid を用いたページ制作			
	第6週	media_queries の使い方			
	第7週	media_querie を用いたページ制作 1			
	第8週	media_querie を用いたページ制作 2			
	第9週	media_querie を用いたページ制作 3			
	第10週	media_querie を用いたページ制作 4			
	第11週	WordPress の概要			
	第12週	WordPress のインストール、設定。			
	第13週	ダッシュボードの仕組み			
	第14週	投稿ページの作成、メニュー作成			
	第15週	期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業中に行う演習における理解度				50%
	授業中の態度				50%
	合計				100%
5. テキスト	「今すぐ使えるかんたん WordPress やさしい入門著書名」（技評）				
6. 参考文献	なし				
7. 履修上の 留意事項	一度講義を休むと授業進行についていけなくなるため、授業には遅刻、欠席をしないように注意すること。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	Web 制作応用Ⅱ			教員名	曾我 政年
対象学年	2	授業数	1 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	近年企業サイト制作に広く用いられるようになった CMS の中でも、もっとも 多く用いられる WordPress の概要と仕組みを、演習を通して理解する。				
2. 科目の 到達目標	① WordPress のテーマを用いて企業サイトを作成し、 サイトの編集を自由に行えるようにする。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	ギャラリーページの作成 ウィジェットの利用、テーマの変更 プラグインの利用 1 プラグインの利用 2 ギャラリーページ、フォームの作成 固定ページ作成 固定ページを用いて病院サイトを作成 1 固定ページを用いて病院サイトを作成 2 固定ページを用いて病院サイトを作成 3 固定ページを用いて自由なサイトを作成 1 固定ページを用いて自由なサイトを作成 2 固定ページを用いて自由なサイトを作成 3 固定ページを用いて自由なサイトを作成 4 固定ページを用いて自由なサイトを作成 5 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	授業中に行う演習における理解度			50%	
	授業中の態度			50%	
	合計			100%	
5. テキスト	「今すぐ使えるかんたん WordPress やさしい入門著書名」（技評）				
6. 参考文献	なし				
7. 履修上の 留意事項	一度講義を休むと授業進行についていけなくなるため、授業には遅刻、欠席を しないように注意すること。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	マーケティング基礎Ⅰ			教員名	石井 克成
対象学年	2	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	この科目では、マーケティングの基本概念を紹介します。 広告の仕組み、商品がどのようにして顧客の注意を引き、欲しいと思わせるかを学びます。				
2. 科目の 到達目標	① ビジネスの基本について習得する ② マーケティングの基本について習得する				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	ビジネスとは ビジネスを考える マーケティングとは マーケティングを考える インターネット①（過去・現在） インターネット②（未来） ネットショップ①（ネットショップの基本） ネットショップ②（ネットショップを比較する） ホームページの役割 SNS①（SNS の基本） SNS②（SNS を比較する） WEB マーケティングとは ケーススタディー① ケーススタディー② 期末試験・期末課題提出（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席・授業中の態度			50%	
	期末課題の評価			50%	
				合計	100%
5. テキスト	必要に応じて資料配布				
6. 参考文献	必要に応じて資料配布				
7. 履修上の 留意事項	本授業では、演習を中心として授業を進めていきます。 学生自身で考えながらマーケティングについて理解を深めていく手法を取っています。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	マーケティング基礎Ⅱ			教員名	石井 克成
対象学年	2	授業数	1 / 週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	マーケティング基礎Ⅰで学んだことをベースに、各自で選択した商材を販売するためのマーケティング戦略を構築してもらいます。				
2. 科目の 到達目標	① マーケティングの戦略を構築できる ② マーケティング戦略に基づいた基本的なツールを構築できる				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	マーケティング基礎Ⅰの復習 商材選択 商材の分析 ペルソナについて ペルソナの構築 マーケティング戦略の構築（演習） マーケティング戦略の構築（演習） マーケティング戦略の構築（演習） マーケティングツールの構築 マーケティングツールの構築 マーケティングツールの構築 マーケティングツールの構築 マーケティングツールの構築 成果発表 期末試験・期末課題提出（授業は第14週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席・授業中の態度 期末課題の評価			50% 50%	
	合計			100%	
5. テキスト	必要に応じて資料配布				
6. 参考文献	必要に応じて資料配布				
7. 履修上の 留意事項	本講座は演習を中心にした講座であり、期末課題は講座の中で構築したマーケティングツールの発表となります。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
前期					
授業科目名	ビジネス実務Ⅰ			教員名	松井 舞
対象学年	2	授業数	2 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	ビジネス文書の様々な決まりや型を学び、情報を正しく伝達することができる技術を身につける。さらに、社会で必要となる適切な文書が作成できる活用力を習得する。				
2. 科目の 到達目標	① Word の基本的な機能の使い方を理解し、効率的な作業ができる ② 社内文書、社外文書、ビジネスメールを理解できる ③ 目的に応じたビジネス文書を自ら作成できる				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	ビジネス文書の構成 社外文書と社内文書の特徴 表の作成・表の詳細設定 表を用いたビジネス文書の作成 実践 Drill1・2 ワードアート・図形の挿入 図形の編集・地図の作成 ワードアート・図形を用いたビジネス文書作成 チラシの作成 レポートの作成方法の習得 実践 Drill3・4 Excel を活用したビジネス文書の作成 ビジネスメールの特徴の理解 ビジネスメールの書き方の習得 期末試験・期末課題提出（授業は第14週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席・態度 定期試験の評価			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	「実践ドリルで学ぶ Office 活用術」 (noa 出版)				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項	欠席した場合や、授業で実施した箇所まで実施できなかった場合には、各自実施しておく。				
教員実務経験	■有 □無				

2025年度	学科・ コース	□IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビ実 □デザイン	
後期					
授業科目名	ビジネス実務Ⅱ			教員名	松井 舞
対象学年	2	授業数	2 /週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	ビジネス文書の様々な決まりや型を学び、情報を正しく伝達することができる技術を身につける。さらに、Excel を活用し効率よく文書が作成できる実践力や活用力を習得する。				
2. 科目の 到達目標	① Excel の基本的な機能の使い方を理解し、効率的な作業ができる ② 適切に関数を活用し文書を作成できる ③ 目的に応じたビジネス文書を自ら作成できる				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	書式を設定した見やすい表の作成 計算式を活用した表の作成 関数の習得 関数を活用した表の作成 関数を活用した表の作成（応用問題） 伝わるグラフの作成 実践 Drill 1 フィルターオプションを活用したデータベースの習得 ピボットテーブルの基礎の習得 実践 Drill 2 見積書・請求書の作成 領収書・納品書の作成 家計簿の作成 勤務表の作成 期末試験（授業は第 14 週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	出席・態度 定期試験の評価			30% 70%	
	合計			100%	
5. テキスト	「実践ドリルで学ぶ Office 活用術」 （noa 出版）				
6. 参考文献					
7. 履修上の 留意事項					
教員実務経験	■有 □無				

2025 年度	学科・ コース	■IT スペシャリスト ■情報メディア □医療秘書		■ビジネス実務 □デザイン	
前期					
授業科目名	キャリアガイダンスⅡ			教員名	小山 久美子
対象学年	2	授業数	1/週	授業形態	講義・演習
1. 科目の概要	キャリアガイダンスⅠを踏まえ、卒業後の進路を明確にする。 前期中に企業内定を目標とするための対策を行う。				
2. 科目の 到達目標	① 自己の将来を明確にし、希望の進路を実現する。 ② 履歴書作成、面接練習を通じて、社会人としてふさわしい言葉遣い、表現を身につける。。 ③ 自己分析を行うことで自身の長所や適性を理解し、キャリア設計に活かす。				
3. 科目の内容 (各週毎)	第1週 第2週 第3週 第4週 第5週 第6週 第7週 第8週 第9週 第10週 第11週 第12週 第13週 第14週 第15週	就職活動の進め方 ハローワーク等求職登録 自己分析、自己PR文を作る 求人票の見方、求人の探し方／就職希望面談（前半） 求人票の見方、求人の探し方／就職希望面談（後半） ジンチャレ！の活用について 地元就職ガイダンス 面接練習（問いを想定して簡潔に答える練習） 26年卒の採用状況について 面接練習（問いを想定して簡潔に答える練習） 自己PR文の作成（読み手にわかりやすいPR文を作る） 個別対策（面接練習、自己PR、志望動機の作成等） 個別対策（面接練習、自己PR、志望動機の作成等） 個別対策（面接練習、自己PR、志望動機の作成等） 期末試験・期末課題提出（授業は第14週まで）			
4. 成績評価基準 (内容・評価の観点・ウェイト等)	課題提出			25%	
	授業姿勢			25%	
	出席率			50%	
	合計			100%	
5. テキスト					
6. 参考文献	「ぎふ企業ガイドブック2025年度版」 「岐阜県就職情報誌 MY PLAN 2026」				
7. 履修上の 留意事項	自己都合により欠席や遅刻をした場合は必ず内容把握すること。PC 各自用意。				
教員実務経験	■有 □無				